

第1期宇土市総合戦略KPI一覧

(基本目標1 みんなが豊か! ~宇土市における安定した雇用を創出する~)

資料2(参考)

〈「実績」の色について〉

達成	未達成
----	-----

〈達成区分について：進捗状況を3区分に分類〉

A	B	C
80%以上	79%~51%	50%以下
4	1	6
36%	9%	55%

※数値目標は除く

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H24.2.1	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
①	小売業年間販売額	億円	目標	—	258	268	278	288	297	A
			実績	248	—	337	—	—	—	
成果										
【H27】 経済センサスデータ無し 【H28】 H24.2から20%の増加を目標としており、H28年は35.9%増加。目標達成。 【H29】 【H30】 【R1】 経済センサスの公表はH28年分までのためデータ無し。										

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
1-1	バイヤーと生産者のマッチング件数	件	目標	—	—	4年間 (H28~R1) で13件			13	A
			実績	H28から実施		4	3(7)	3(10)	6(16)	
成果										
【H28】 H29年2月に1泊2日のマッチングツアーを開催。 【H29】 H30年1月に1泊2日のマッチングツアーを開催。昨年度とは異なるシェフ・バイヤーと生産者によるツアーで、新規のマッチングが行えた。 【H30】 これまでの繋がりを生かし、新たなバイヤーやwebでの掲載、販路の拡大を行った。 【R1】 東京都内青山のレストランFEUにて開催したTOKYO PROMOTIONより、生産者とレストランシェフとのマッチングを行った。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点	達成区分
1-2	機能性野菜の生産件数	件	目標	—	—	10	15	20	25	C
			実績	—	6	2	5	6	6	
成果										
【H28】 熊本地震の影響により、生産件数が減少した。 【H29】 「うとげんき野菜」として宇土マリーナ生産者出荷協議会の生産者に種苗を配布し、宇土マリーナにて販売。 【H30】 ウトブランドのシールを貼り、宇土マリーナで販売。 【R1】 宇土マリーナでの販売に加え、若手農業者による栽培が始まり、市場へ納品した。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
1-2b	ウトブランドのPR件数 →第2期総合戦略へ継続	件	目標	—	—	39,000	46,000	120,000	130,000	A
			実績	—	—	335,400	110,800	218,315	296,597	
成果										
【H28】 熊本日日新聞、全国農業新聞(熊本版)に掲載 【H29】 広報うとへの掲載、「宇土市の旬を届ける実行委員会」によるFacebookを開設。また、食の展示会等により実物を見て食べてもらった。 【H30】 Facebookの閲覧数や熊日、料理王国、コロンブス等に掲載。 【R1】 Facebookの閲覧数や熊日、日経トレンドィ、Ozmail等に掲載。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
1-3	ブランド化に取り組んだ水産加工製品の売上額	千円	目標	—	1,632	1,652	1,672	1,692	1,710	C
			実績	1,554	2,190	1,677	1,510	1,093	740	
成果										
【H27】加工・直接販売ができる水産加工施設を設置。 【H28】熊本地震の影響で11月まで施設の営業ができなかった。 【H29】水産物の減少により、売上額が減少した。 【H30】軽トラ市等イベントの開催の減少により、売上額が減少した。 【R1】住吉漁協女性部による「海苔子の佃煮」は需要の減少、「天日干し」は生産の減少により、売上額が減少した。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分	
1-4	中心市街地における空き店舗数【減少目標】	件	目標	—	R1時点で20件					20	C
			実績	3	4	14	24	24	25		
成果											
※熊本地震により空き店舗の増加により、目標値を「現状維持（H26の3件）」から「R1時点で20件」に変更（H31.2改訂）。 【H27】昨年度から1件増加。 【H28】熊本地震の影響で空き店舗が増加。 【H29】熊本地震の影響で空き店舗が増加。H28は解体自体が完了していない。 【H30】解体はほぼ完了。空き店舗数は増減なし。 【R1】後継者不在による廃業により、1件増加した。											

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
1-5	新規就農者数	人	目標	—	17	18	18	19	20	B
			実績	17	19	21	19	11	12	
成果										
【H27】2人の新規就農があった。 【H28】2人の新規就農があった。 【H29】3人の新規就農があり、5人の終了者があった。 【H30】1人の新規就農があり、9人の終了者があった。 【R1】2人の新規就農があり、1人の終了者があった。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
1-6	新規就漁者数	人	目標	—	2	2	2	2	3	C
			実績	2	2	2	4	0	1	
成果										
H30年度の審議会を受け、（指標1-5）新規就農者数と同様に後継者を含めた数値に変更。各年度、純粋な新規就漁者はおらず後継者のみの数値となっている。 【R1】網田において、海苔やイカを主とする後継者が1人増加した。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
1-7	新規創業件数	件	目標	—	10	10	10	10	10	C
			実績	6	9	5	3	7	4	

成果

【H27】 昨年度と比較すると増加した。
【H28】 熊本地震の影響もあり減少した。
【H29】 新規創業が少ないだけでなく、事業を辞めていく場合も多い。
【H30】 熊本地震からの落ち着きがみられ、件数が増加した。
【R1】 昨年度と比較すると減少したが、既存の制度による新規創業2件に加え、R1に開始した宇土市創業支援事業補助金の利用が2件あった。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】~R1累計	達成区分
1-8	雇用促進奨励金給付者数 →第2期総合戦略へ継続	人	目標	—	5年間(H27~R1)で25人				25	C
			実績	0	6	0(6)	0(6)	6(12)	0(12)	

成果

宇土市在住者を新規雇用した場合、上限1,000万円の範囲内で1人30万円を給付している。

【H27】 1社(6人雇用)に対する給付を行った。
【H28】 実績なし。
【H29】 実績なし。
【H30】 1社(6人雇用)に対する給付を行った。
【R1】 実績なし。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
1-9	農業法人数	経営体	目標	—	R1時点で12経営体				12	A
			実績	7	7	12	13	14	14	

成果

【H27】 新規の企業参入や、県補助金を活用した農事組合法人の立上げがあったため農業法人数が増加した。
【H28】 農業参入の法人が1件あった。
【H29】 農事組合法人の新規立ち上げが1件あった。
【H30】 農業法人の把握が1件あった。
【R1】 目標には到達したが、新規立ち上げはなかった。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
1-10	海面養殖業生産額	百万円	目標	—	1,550	1,630	1,700	1,800	1,930	A
			実績	1,474	1,426	1,959	2,795	1,609	2,216	

成果

【H27】 全国的に海苔の生産が悪かったため、例年に比べ単価が上昇し、売上は良かった。
【H28】 全国的な不作であったが、熊本県において生産枚数が増加し、昨年度を更に上回る海苔単価であったため、目標額を大きく上回る結果となった。
【H29】 H28に続き豊漁であった。
【H30】 県内全域的に高い海水温が影響し不作だった。
【R1】 生産枚数が増加し、単価も上昇したため良好な売上となった。

第1期宇土市総合戦略KPI一覧

(基本目標2 みんなが住みたい! ~宇土市への新しい人の流れをつくる~)

〈「実績」の色について〉

達成	未達成
----	-----

〈達成区分について：進捗状況を3区分に分類〉

A	B	C
80%以上	79%~51%	50%以下
5 45%	3 27%	3 27%

※数値目標は除く

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H22~H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
②	社会増の維持（5年間で200人の社会増） →第2期総合戦略へ継続	人	目標	—	40	40	40	40	200	C
			実績	▲ 72	16	▲ 324	▲ 68	28	▲ 136	
成果										
【H27】社会増を維持した。（社会増は県内6団体のみ） 【H28】熊本地震の影響で転出超過が大幅に増加。 【H29】転出超過しているものの社会増の減少数は少ない。 【H30】熊本地震からの落ち着きが見られ、転入超過となった。 【R1】転出者数がH30の1,595から247人増加し1,842人となったため、転出者が上回り転出超過となった。										

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-1	転入者数（1月~12月）	人	目標	—	1,522	1,554	1,586	1,618	1,650	A
			実績	1,490	1,598	1,513	1,579	1,675	1,678	
成果										
【H27】目標を超える転入があった。 【H28】熊本地震の影響もあり、目標が達成できなかった。 【H29】昨年度よりも増加。 【H30】昨年度よりも増加し、期間内で一番多い転入者数となった。 【R1】昨年度よりも増加し、第1期総合戦略の計画期間内で一番多い転入者数となった。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
2-2	空き家バンク活用件数	件	目標	—	5年間（H27~R1）で6件				6	B
			実績	H27開始	1	1(2)	0(2)	0(2)	1(3)	
成果										
【H27】【H28】主な原因としては空き家の登録件数が少ないため。 【H29】空き家の登録が少なく、市外への周知不足が原因と考えられる。 【H30】空き家の登録自体が0件であるため、まずは登録に向けた取組が必要。 【R1】空き家の登録5件。空き地の登録3件。網田の空き家（居住）の活用が1件あった。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-3	観光客数（観光統計調査における観光入込客数） →第2期総合戦略へ継続	千人	目標	—	1,334	1,361	1,388	1,416	1,416	B
			実績	1,238	1,270	1,195	1,239	1,240	1,127	
成果										
【H27】三角西港の世界遺産認定も影響し観光客数は増加。 【H28】熊本地震の影響により観光客数が減少。 【H29】前年より3.9%増加しており、年間2%程度の増加という見込みは超えた 【H30】昨年度とほぼ同数となった。 【R1】市で最も観光客が多い「うと地蔵まつり」雨天のため来場者数が減少した。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-4	観光消費額	億円	目標	—	35	35	37	37	40	A
			実績	36	34	32	33	—	—	
成果										
【H27】観光客数（指標2-3）は増加したものの、単価が下がったため消費額は前年度から減少した。 【H28】熊本地震の影響で減少した。 【H29】観光客数の増加に合わせ、昨年度より増加。 【H30】県の統計調査が無くなったため不明。 【R1】〃										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-5	温泉利用プログラム参加料収入	千円	目標	—	—	—	2,625	8,250	11,700	C
			実績	H28熊本地震によりH30から実施				0	19	
成果										
【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。 【H30】3月から開始した。いきいき体操が1人300円の3人、ヨガが1人1,300円の14人の利用があった。 【R1】いきいき体操が延べ330名、ヨガが延べ24名の利用があった。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-6	健康ランチ販売収入	千円	目標	—	—	—	1,313	6,300	8,400	C
			実績	H28熊本地震によりH30から実施				0	79	
成果										
【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。 【H30】3月から開始。1食1,000円で提供しており、79人の利用があった。 【R1】1食1,000円のランチを提供。また、値段が約半額の日替定食としての提供も行った。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
2-7	健康加工食品販売収入	千円	目標	—	—	—	313	1,500	2,250	C
			実績	H28熊本地震によりH30から実施				0	0	
成果										
【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。 【H30】健康ランチ販売（指標2-6）提供に合わせ実施する予定だったが、消費期限等の理由から販売に至らなかった。 【R1】真空パックしたテンペを販売。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
2-8	市ホームページへのアクセス件数 (H28以降は震災分除外) →第2期総合戦略へ継続	件	目標	—	850,000	900,000	950,000	1,050,000	1,150,000	A
			実績	824,755	873,055	1,228,122	1,424,541	1,422,613	1,367,749	
成果										
<p>【～H28】 H26.8月に市ホームページをリニューアルし、スマホからも閲覧しやすい環境の整備を進めた。</p> <p>【H29】 熊本地震の情報収集等で、アクセス件数が伸びている。</p> <p>【H30】 H29から地方創生に関するページのプレビュー件数を全市で共有し、見やすい記事の作成に努めている。</p> <p>【R1】 新たな取組みとして、市ホームページ上におけるオープンデータ提供の準備を始めた。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】～R1累計	達成区分
2-9	定住PR動画再生件数	件	目標	—	—	4年間(H28～R1)で5,000件			5,000	A
			実績	H28公開		2,949	1888(4,837)	872(5,709)	786(8,495)	
成果										
<p>【H28】 宇土市への注目が高まっていることも影響した。</p> <p>【H29】 H28公開時に積極的に周知を行ったため、比較すると再生件数は減少したが、R1の目標には達する見込み。</p> <p>【H30】 H29同様。</p> <p>【R1】 再生件数は減っているが、目標数値は達成できた。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】～R1累計	達成区分
2-10	移住に関する相談問い合わせ件数 →第2期総合戦略へ継続	件	目標	—	5年間(H27～R1)で50件				50	B
			実績	H27開始	9	5(14)	1(15)	7(22)	24(48)	
成果										
<p>【H27】 県主催の移住相談会に参加し、都市部での移住PRを行った。</p> <p>【H28】 県主催の移住相談会に参加したが、熊本地震の影響で前年度から減少した。</p> <p>【H29】 担当課へ移住について相談があった件数。</p> <p>【H30】 担当課及び地域おこし協力隊、移住相談会で相談があった件数。</p> <p>【R1】 県主催の移住相談会、くまもと”大”内覧会で相談があった件数及び担当課へ直接相談があった件数。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
2-11	宇土市FB公式ページの「いいね！」数	件	目標	—	710	920	1,185	1,540	2,000	A
			実績	696	794	1,835	2,049	2,037	2,110	
成果										
<p>【H28】 宇土市への注目が高まっていることも影響し、宇土市に「いいね！」しフォローする人が大きく増えている。</p> <p>【H29】 H28から1日1投稿しており、「いいね！」数の増加に繋がっている。</p> <p>【H30】 H29同様。また、広報や市HPに掲載する内容は市FBでも発信するよう市内に呼びかけを行っている。</p> <p>【R1】 広報、市HPとの情報発信連携に加え、市FBと同SNS分野の市公式LINEを追加して更なる拡充を図った。</p>										

〈「実績」の色について〉

達成	未達成
----	-----

〈達成区分について：進捗状況を3区分に分類〉

A	B	C
80%以上	79%～51%	50%以下
11 79%	0 0%	3 21%

※数値目標は除く

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
③	合計特殊出生率（市独自算定） →第2期総合戦略へ継続	—	目標	—	1.53	1.57	1.61	1.65	1.70	B
			実績	1.43	1.54	1.49	1.47	1.74	1.54	
成果										
<p>【～H28】1.5付近を推移しており、R1時点の目標達成は難しいペースで推移している。 【H29】年々低下しており、R1時点の目標達成は難しいペースで推移している。 【H30】全体の女性数は減少したが、出生者数が増加した。 【R1】全体の女性数も出生者数も減少した。出生者数は、H30年度は309人だったがR1年度は272人と37人減少した。</p>										

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】～R1累計	達成区分
3-1	カップリング数 →第2期総合戦略へ継続	組	目標	—	5年間（H27～R1）で20組				20	A
			実績	2	2	1(3)	6(9)	7(16)	9(25)	
成果										
<p>【H27】市主催の婚活パーティー（2回実施）の数。 【H28】宇城広域連合主催の事業による数。（成婚） 【H29】宇城広域連合主催の事業による数。 【H30】NPO法人及び宇城広域連合主催の事業による数。 【R1】県の結婚チャレンジ補助金利用による婚活イベントでの成果。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-2	不妊治療後に妊娠届の提出があった人数 ※治療による妊娠かは不明	人	目標	—	7	7	7	7	7	A
			実績	6	7	7	9	6	10	
成果										
<p>【H27】昨年度から増加し、目標を達成した。 【H28】妊娠届の届出人数は目標を達成した。 【H29】申請数（指標3-3）の増加に加え、不妊治療の成果が出たと思われる人数が増加した。 【H30】申請数は増加したものの、成果が出たと思われる人数が増加した。 【R1】従来の特定不妊治療費助成に併せ、市独自の一般不妊治療費助成を令和元年10月から開始した。そのため、実績は特定不妊治療と一般不妊治療を併せた数となっている。（特定不妊治療による妊娠者数：7人、一般不妊治療による妊娠者数：3人）</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-3	不妊治療助成の申請数	件	目標	—	30	30	30	30	30	A
			実績	29	17	9	14	23	36	
成果										
<p>【H27】年齢制限が設けられたことも影響し減少した。 【H28】男性への助成も開始した。 【H29】H28は熊本地震の影響もあり出生数自体少なかったが、落ち着いてきたため増加したものと思われる。 【H30】出生率増加（数値目標②）のように、出産を希望する女性が増加しているためと思われる。 【R1】従来の特定不妊治療費助成に併せ、市独自の一般不妊治療費助成を令和元年10月から開始した。そのため、実績は特定不妊治療と一般不妊治療を併せた数となっている。（特定不妊治療申請数：18件、一般不妊治療申請数：18件）（特定不妊治療申請数のうち1件は同対象者による申請）</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-4	保育所待機児童数 →第2期総合戦略へ継続 ※第1期は4月、第2期は10月時点の数値	人	目標	—	0	0	0	0	0	A
			実績	27	15	2	0	0	0	
成果										
<p>【H27】 定員増等により減少した。 【H28】 小規模保育所の認可等を行っている。 【H29】 定員超過での受け入れによる弾力的運用や施設整備により、20人定員増加を行った。 【H30】 2か所の保育園で合計定員20人増を行った。 【R1】 2か所の保育園で合計定員20人増を行った。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-5	放課後児童クラブ待機児童数	人	目標	—	0	0	0	0	0	A
			実績	35	0	11	10	4	3	
成果										
<p>【H27】 国の交付金を活用し整備を行った。 【H28】 H27から6年生までの利用が可能になり、部活動の社会体育への移行で4～6年生の利用が増えた。新設したが、4年生以上に待機が生じている。 【H29】 4～6年生の利用が増えた。 【H30】 4～6年生の利用が多く、花園小校区で希望待機は発生しているが、10人の定員増を行ったため待機児童数は減少した。 【R1】 4～6年生の利用が多く、5年生以上に待機が生じている。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-6	幼稚園児一時預かり保育利用園児数	人/日	目標	—	30	30	30	30	30	A
			実績	H27開始	14	28	23	12	24	
成果										
<p>【H27】 実施初年度で利用者数は想定ほど多くなかった。 【H28】 園児の減少もあり減少したが、一人当たりの利用日数が増え、一日当たりの利用園児数が増加した。 【H29】 園児の減少により、利用園児数も減少している。 【H30】 H29同様 【R1】 園児は減少傾向にあるが、保育料無償化に伴い利用者数は増加した。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
3-7	子育てに不安や負担を感じる保護者の割合	%	目標	—	—	58	R1時点で50%		50	C
			実績	—	—	66	70	68	64	
成果										
<p>子どもが3人以上いる世帯に対し3人目以上給食費無償化を行っており、その世帯を対象にアンケートを行っている。 【H28】 副教材費助成、多子世帯の給食費無償化等経済的負担軽減策、特性をもつ子どもやその親に対する支援を行い、子育ての負担軽減を図った。 【H29】 アンケートの結果、H28と比較し「やや不安」と回答した世帯が多かった。 【H30】 昨年度より微減している。 【R1】 昨年度より微減した。不安や負担を感じる原因は「金銭面」が最も多く、約8割を占めた。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
3-8	サポート事業によりワークライフバランス改善に繋がったと答える保護者の割合	%	目標	—	—	75	R1時点で90%		90	A
			実績	—	—	76	75	83	80	
成果										
<p>【H28】市ホームページに掲載し、放課後児童クラブの整備、特性を持つ子どもの親への支援等を行い、ワークライフバランス改善に向けた取り組みを行った。</p> <p>【H29】「なんとも言えない」と回答している人が多く、自由記載欄には制度について「感謝している」「助かっている」という回答も多く見られた。</p> <p>【H30】「ワークライフバランス」の意味が伝わりやすいよう、設問の見直しを行った。自由記載欄には「助かった」という回答が見られた。</p> <p>【R1】話を聞いてもらえて助かったという回答が多い傾向にあった。相談窓口がわかりづらいとの指摘もあったので、今後改善していく必要がある。目標達成は困難な結果となったが、今後、保護者の率直な意見などを検証し、事業に役立てていきたい。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点	達成区分
3-9	保護者に向けた子育て・教育関連ページへのアクセス件数	件	目標	—	—	2,500	R1時点で10,000件		10,000	C
			実績	—	—	229	1,403	2,001	2,910	
成果										
<p>【H28】H29.2月に、ファミリーサポートセンターや保育制度など保護者支援に繋がる内容をまとめたページを市HP上に作成した。開設時期が遅かったことが影響した。</p> <p>【H29】市HP上に掲載中。</p> <p>【H30】アクセスしやすいよう掲載場所を増加した。</p> <p>【R1】掲載内容の充実・見直しを行い、アクセス件数が前年度より増加したが、目標値には届かなかった。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-10	放課後子ども教室参加児童のべ人数	人	目標	—	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	C
			実績	1,113	1,041	872	529	875	470	
成果										
<p>【H27】大雨の影響により開催回数が減った。</p> <p>【H28】熊本地震の影響により開催回数が減った。</p> <p>【H29】生徒数の減少に加え、社会体育の移行により放課後の過ごし方選択肢が増え、スポーツクラブでの活動等に流れている。</p> <p>【H30】リピーターの増加やスポーツクラブから流れてきたため登録者数が増加した。</p> <p>【R1】主な対象者である1年生の入学者数が少なかったことで全体の申込者数が例年より少なく、大雨や新型コロナの影響で開催回数が減った。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1	達成区分
3-11	小規模特認校制度利用生徒・児童数	人	目標	—	5	5	5	5	5	A
			実績	H27開始	3	4	4	7	10	
成果										
<p>網田小・網田中学校での教育を受けることを希望する大規模校（宇土小・花園小・鶴城中）の児童・生徒について、一定の要件を満たす場合に入学を認める制度を制定し運用している。広報等で、利用者の声も掲載しながら、制度の周知を行った。</p>										

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	(参考) H29.12	H30	【目標】 R1	達成区分
3-12	0歳～中学3年生の転入者数	人	目標	—	—	—	—	180	190	A
			実績	—	—	—	127	208	186	

成果

国際化・情報化社会に対応できる能力を身に付けさせる教育・人材育成プログラムとして「宇土市の未来人材育成プロジェクト」を実施。ICTを活用した地域学習や幼少期からの英語教育（体験）を実施する。魅力ある宇土市の教育をPRし、子育て世代の転入増加を目標としている。

【H30】 中学校3校分（110台）のタブレットの購入及び無線LANを整備した。

【R1】 小学校7校分（280台）のタブレットを購入し、学習支援ソフトを導入した。また、次年度からの本格的なICTを活用した授業に向け、ICT支援員による教材等の研究を行った。英語教育（体験）は、保育園や小中学校で実施している。

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
3-12	副教材費助成者数	人	目標	—	657	657	658	659	660	A
			実績	657	657	720	720	664	625	

成果

【H27】 副教材購入費の助成額を、在校生2,000円、新入生3,500円に増額した。

【H28】 継続し制度の運用を行った。

【H29】 副教材購入費の助成を小中学校の1年生に行っている。

【H30】 H29同様。

【R1】 H29・H30同様。助成者数の減少は、児童生徒数の減少によるものである。

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
3-13	多子世帯給食費助成により経済的負担が減ったと感じる保護者の割合	%	目標	—	—	85	85	90	90	A
			実績	H27開始	—	86	86	89	89	

成果

【H27】 経済対策の交付金を活用し実施

【H28】 就学支援・援助を目的とした宇土市独自の事業として実施

【H29】 第3子以降の給食費無償化の対象世帯に対するアンケート結果。

【H30】 H29同様。

【R1】 H30と同様。実績も横ばいであった。

第1期宇土市総合戦略KPI一覧

(基本目標4 みんなで実現!～時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る～)

〈「実績」の色について〉

達成	未達成
----	-----

〈達成区分について：進捗状況を3区分に分類〉

A	B	C
80%以上	79%~51%	50%以下
6 67%	2 22%	1 11%

※数値目標は除く

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
④	新築家屋の建築棟数	棟	目標	—	134	134	134	134	134	A
			実績	134	110	122	184	234	181	
成果										
<p>【H28】過去最高だったH26年の実績には届かないが、年間100件を超える住宅の新築が行われている。 【H29】熊本地震の影響による建築増が大きい。 【H30】熊本地震の影響と思われる市内の建築数が31棟増加しているが、市外からの転入者による建築数も19棟増加している。 【R1】熊本地震の影響による建築増が多い。市内在住世帯(転居)は減少したが、転入世帯は年々増加している。</p>										

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点	達成区分
4-1	連携協約事業数 ※熊本市と共同して実施する事業のみを対象。熊本市が主体となって実施する事業は含まない。	事業	目標	—	—	R1時点で30連携事業			30	A
			実績	H28開始			31	33	33	
成果										
<p>【H28】熊本連携中枢都市圏の取組をH28年度から開始したが、熊本地震により休止した内容があった。また、首長が上京し各省庁への要望活動を行った。 【H29】通常業務に加え、熊本地震に関する連携項目が増加した。 【H30】H29と同様。 【R1】連携中枢都市圏事業拡大に伴い連携事業が増加した。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
4-2	新規連携取組数 →第2期総合戦略へ継続	連携	目標	—	5年間(H27~R1)で5連携				5	A
			実績	H27~	2	1(3)	2(5)	3(8)	2(10)	
成果・課題										
<p>【H27】・「税」の出前授業〔九州財務局〕 ・宇城地域共同での学生向けセミナー〔熊本県、宇城市、美里町、県立大〕 【H28】・学生GPでのRESAS(地域経済分析システム)共同研究〔県立大〕 【H29】・特産品相互取扱協定締結〔大阪府泉佐野市〕 ・崇城大学地域計画設計〔崇城大学建築学科〕 【H30】・みまもり協定(ふるさと納税)〔郵便局〕 ・行長しゃんのおうち作成〔崇城大学建築学科〕 ・博多大丸アンバサダー協定〔博多大丸〕 ・まちづくりcafe〔九州財務局〕 【R1】・健康づくり推進包括協定〔宇土市商工会、協会けんぽ〕により、「宇土市史跡巡りウォーク」を開催 ・観光施設などの案内看板づくり〔崇城大学建築学科〕</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
4-3	住宅リフォーム助成件数	件	目標	—	5年間(H27~R1)で150件				150	A
			実績	90	47	震災のため休止		42(89)	45(134)	
成果										
<p>【H28~H29】事業休止 【H30】事業を再開。 【R1】H30と比較し事業総額の上限が増加したため、3件多く申請を受け付けることができた。</p>										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
4-4	交通事故死者数（1月～12月）	人	目標	—	0	0	0	0	0	A
			実績	3	4	0	1	3	0	
成果										
【H28】交通指導員，交通安全協会，等と連携し啓発活動に取り組んできた結果，H28年に，S53年以来の「交通死亡事故ゼロ」を達成した。 【H29】遮断機なしの踏切での事故。 【H30】国道・県道・市道上それぞれで交通死亡事故が計3件発生。 【R1】交通指導員，交通安全協会等と連携し啓発活動に取り組んだ結果，目標達成することができた。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1	達成区分
4-5	交通事故発生件数（1月～12月）	件	目標	—	157	155	153	150	140	A
			実績	159	127	121	134	128	94	
成果										
【H28】熊本地震による復興関係で交通量が増加したため。 【H29】H28と同様。 【H30】熊本地震の落ち着きや，交通安全の啓発による減少した。 【R1】7地区公民館で交通安全講座を開始し，交通安全の啓発を強化したこともあり減少した。										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
4-6	市と企業で締結した進出及び増設協定数 →第2期総合戦略へ継続	件	目標	—	5年間（H27～R1）で5件				5	B
			実績	1	1	0(1)	1(2)	2(4)	0(4)	
成果										
【H27】1社と増設協定を締結した。 【H28】実績なし 【H29】1社と増設協定を締結した。 【H30】2社と増設協定を締結した。 【R1】実績なし										

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
4-7	まちづくり基金助成金（ソフト事業）件数 →第2期総合戦略へ継続	件	目標	—	5年間（H27～R1）で25件				25	A
			実績	H27開始	13	5(18)	9(27)	6(33)	22(55)	
成果										
【H27】自治公民館の備品購入に活用できるよう既存の制度を変更した。 【H28】H27から変更なし。 【H29】H28は地震の影響で減少したが，行政区や市民活動団体の活動が行えるようになったため増加した。 【H30】H29の内容と変化なし。 【R1】仮設住宅で使用していたエアコンの移設費用等を対象としたため増加した。										

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点	達成区分
4-8	地域おこし協力隊任期終了後の定住率	%	目標	—	—	R1時点の定住率60%			60	B
			実績	地域おこし協力隊任期 (H28~H30)						

成果

活動期間H28~H30。

H31年4月時点では、3人の地域おこし協力隊のうち、2人が活動終了後も民泊の検討やキッチンカーによる移動販売等をしながら宇土市に在住していたが、令和元年度末時点の実績では33%となった。

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計	達成区分
4-9	新規事業実施（ゼロ予算事業）	件	目標	—	5年間（H27~R1）で10件				10	C
			実績	H27開始	2	0	0	0	0(2)	

成果

【H27】 市民団体等の協力のもと、「絵本とおやつを楽しむひととき」「取材のしかた・原稿のつくりかた」の2つの事業を企画・実施した。

【H28】 熊本地震の影響で実施できなかった。

【H29】 実施していない。

【H30】 実施していない。

【R1】 実施していない。